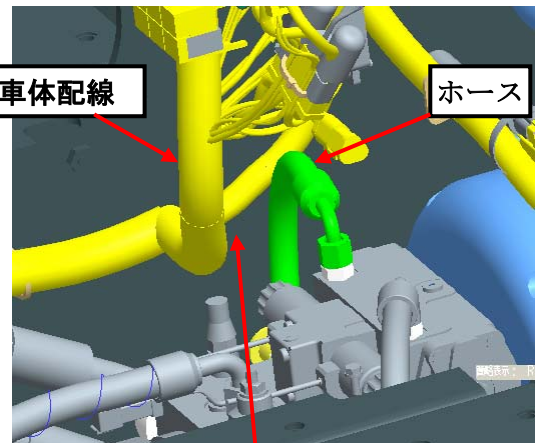
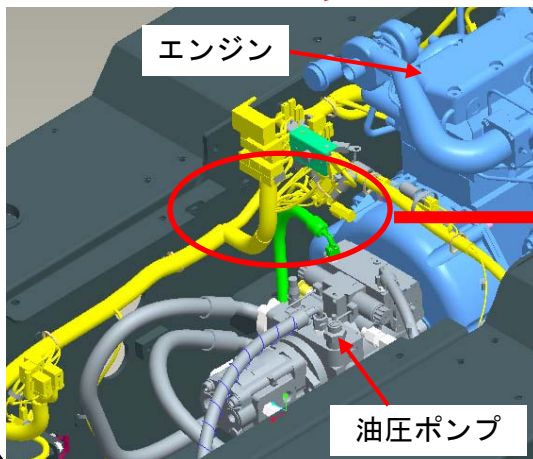
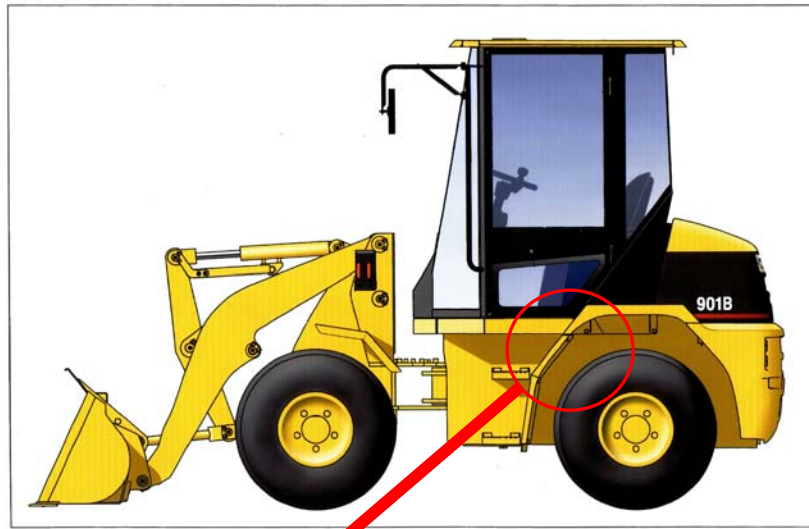


改善箇所説明図①



車両前方

走行用油圧ポンプのホースの組付け角度の指示が不適切なため、ホースと車体配線の隙間が狭くなり干渉する場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホースから油が漏れるもしくは車体配線が断線し、最悪の場合、走行出来なくなるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、ホースと車体配線を点検し、規定の隙間を確保できるよう調整する。又、ホース・車体配線が損傷しているものは新品と交換する。

注： は、対策部位を示す。

識別：ホース口金部に白ペンキを塗布し、識別する。